第36回 日本腹部放射線学会開催のご挨拶



第36回日本腹部放射線学会 会長 高瀬 圭 東北大学大学院医学系研究科 放射線診断学分野

第36回日本腹部放射線学会を2023年6月9日(金)と10日(土)の両日、宮城県仙台市の仙台国際センターにて開催させていただきます。伝統ある本会を主催させていただき、たいへん光栄に存じます。

画像診断は、病理診断に迫ることを目標に、さらには病変全体や身体全体の画像を俯瞰できることからは、病理医と協力して正確な病態診断に至ることを目標に発達してきました。近年のCTやMRIでは、進化した画像技術で高解像度の病変描出や物質分別が可能となってきましたが、放射線診断の裏付けは画像と病理の対比が基本となっています。日本腹部放射線学会は、病理所見と画像診断を詳細に検討して地に足の着いた画像診断の王道を実践する会であると認識しています。

初夏の仙台は気候が穏やかで緑が多く、街のケヤキ並木が美しい季節です。参加者の皆様に「杜の都」を十分に感じていただけるのではないかと思います。「海のパイナップル」と呼ばれる「ほや」のいちばん美味しい月で、旬を迎える三陸の海の幸もたくさんあります。松島まで少し足を延ばしたり、定番の「牛タン」や「ずんだ餅」を楽しまれたりするのも良いでしょう。

コロナ感染も落ち着いていることが期待され、久しぶりに懇親会やイベントも用意して参加者の皆様と歓談したいと考えております。

東北の地ですが、仙台は東京から新幹線で1時間半程、仙台空港から仙台駅は17~25分と利便性の高い場所です。会場は仙台駅から地下鉄5分で直結した広瀬川河畔、青葉城の麓にあり、初夏の自然の風景の中で、学んで遊んでいただければと思います。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしています。

一般社団法人日本腹部放射線学会 役員名簿

《代表理事》 陣﨑 雅弘 (慶應大)

《副代表理事》 楫 靖(島根大) 吉満 研吾(福岡大)

《理事》:11名

 赤羽
 正章 (国際医療福祉大)
 石神
 康生 (九州大)
 伊東
 克能 (山口大)
 蒲田
 敏文 (金沢大)

 木戸
 晶 (富山大)
 新本
 弘 (防衛医大)
 高瀬
 圭 (東北大)
 竹原
 康雄 (名古屋大)

藤井 進也 (鳥取大) 南 学 (筑波大) 村上 卓道 (神戸大)

《監事》:2名

小山 貴(倉敷中央) 藤永 康成(信州大)

《評議員》:78名

【北海道・東北地区】5名

加藤健一(岩手医大) 児玉 芳尚(手稲渓仁会) 篠原 敦(大館市立総合) 渋谷 剛一(青森県立中央)

津田 雅視 (仙台市立病院)

【関東・甲信越地区】27名

秋田 大宇 (慶應大) 市川 智章 (伊勢崎市民病院) 衣袋 健司 (日本大板橋) 扇 和之 (日本赤十字)扇谷 芳光 (昭和大) 岡田 真広 (日本大学) 岡田 吉隆 (埼玉医大国際医) 加村 毅 (信楽園病院)北井 里実 (がん研有明) 桑鶴 良平 (順天堂大) 五味 達哉 (東邦大大橋) 近藤 浩史 (帝京大)

齋藤 和博 (東京医科大) 佐野 勝廣 (順天堂大) 曽我 茂義 (獨協医大) 竹下 浩二 (東京山手メディカル)
 田中優美子 (がん研有明) 那須 克宏 (千葉大) 原留 弘樹 (北里大) 古川 顕 (東京都立大)
 松枝 清 (がん研有明) 松尾 義朋 (イーサイトヘルスケア) 本杉宇太郎 (甲府共立病院) 松木 充 (自治医大とちぎ子ども医セ)

森 健作 (筑波大) 吉村 宣彦 (新潟大) 渡谷 岳行 (東京大)

【中部・北陸地区】11名

阿保 斉(富山県立中央) 伊藤 茂樹(名古屋第一赤十字)石垣 聡子(名古屋大) 尾崎 公美(浜松医大)

五島 聡 (浜松医大) 小林 聡 (金沢大) 鈴木耕次郎 (愛知医大) 竹内 充 (ラジオロネット東海)

南 哲弥 (金沢医大) 山本 亨 (福井県立) 野田 佳史 (岐阜大)

【近畿地区】20名

今岡いずみ (神戸低侵襲がん医療) 大田 信一 (滋賀医大) 大西 裕満 (大阪大) 磯田 裕義(京都大) 河上 聡 (京都ProMed) 北島 一宏 (兵庫医大) 狩谷 秀治 (関西医大) 金 東石 (河内総合病院) 哲(高槻病院) 杉本 幸司 (大山記念病院) 祖父江慶太郎 (神戸大) 髙橋 谷川 昇 (関西医大) 坪山 尚寛 (大阪大) 鶴崎 正勝 (近畿大) 中井 豪(大阪医大) 廣橋 伸治 (大阪暁明館) 山崎 道夫(公立甲賀) 雅敏 (神戸大) 丸上 永晃 (奈良医大) 山本 和宏 (大阪医科薬科大)

【中国・四国地区】9名

要井 和夫 (広島大) 佐野村隆行 (香川大) 竹内麻由美 (徳島大) 玉田 勉 (川崎医大) 福倉 良彦 (川崎医大) 松崎 健司 (徳島文理大) 山上 卓士 (高知大) 吉廻 毅 (島根大)

松田 恵 (愛媛大)

【九州・沖縄地区】6名

青木 隆敏 (産業医大) 入江 裕之 (佐賀大) 内田 政史 (久留米大) 浪本 智弘 (玉名中央病院)

林 秀行 (諫早総合) 松本 俊郎 (アルメイダ病院)

《名誉会員》: 16名

荒木 力 (健康科学大) 今井 裕 (東海大) 大友 邦 (国際医療福祉大) 角谷 眞澄 (丸の内病院) 黒田 知純 (大阪がん予セ) 後閑 武彦(昭和大) 杉村 和朗 (神戸大) 富樫かおり (京都大) 中村 仁信 (彩都友紘会) 鳴海 善文(京都橘大) 平松 慶博(立川北口健診館) 宣夫(兵庫医大) 宣(長門記念病院) 山下 康行(公立玉名中央) 修 (北陸画像診断支援セ) 宗近 宏次 (総合南東北病院) 森 松井

《功労会員》: 7名

木戸長一郎 (木戸病院) 隈崎 達夫 (さわやか済生) 齋田 幸久 (東京医科歯科大学) 竹川 鉦一 (総合南東北病院)

田村 正三 (川南病院) 山田 龍作 (大阪河崎リハ) 吉田 哲雄 (県立足柄上)

(117名敬称略・五十音順)

【一般社団法人日本腹部放射線学会事務局】

代表理事: 陣崎 雅弘事務局: 玉木 直美

慶應義塾大学医学部放射線科学教室

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35番地

E-mail: jsar@rad.med.keio.ac.jp

一般社団法人設立と正会員としての年会費制について

本会は1990年から「任意団体」として活動して参りましたが、会員数も平成22年には900名を越え、 国内外の腹部放射線医学・画像診断学領域において重要な役割を果たしております。

放射線医学の更なる発展の基盤となるよう、平成23年2月7日(月)に名実ともに「一般社団法人 日本腹部放射線研究会」として設立登記し、平成25年6月21日(金)に「一般社団法人 日本腹部放射線学会」となりました。

尚、「一般社団法人」は主に「会費収入」で成り立つ事が条件と定める公正取引委員会での取決めに基づき、 平成23年度より正会員としての「年会費制(8,000円)」を導入し、お支払い手続きのご負担軽減の為、 全てクレジットカード決済としております。

【正会員の継続について】

2018年度よりセキュリティー強化の為、年会費納入の為に入力されたカード情報は、本会で保管しない方針となりました。昨年同様2023年度(2023年5月1日-2024年4月末日)年会費は自動決済されませんので、新年度(2023年度)年会費納入に際し、各自(全員)、学会ホームページ「会員登録」の「確認・修正」ボタンよりカード情報の再登録をお願い致します。

(前年度の年会費が納入されていない場合、滞納分から優先して決済されます。)

【新規に正会員としてご登録頂く場合】

本学会の法人化前(平成23年2月7日以前)に会員登録済みの場合は、学会ホームページの会員登録頁より「確認・修正」をご選択頂き、登録内容を確認・修正してください。この際には年会費のクレジットカード決済のご入力を御願いいたします。

·年会費納入期間:日本腹部放射線学会法人年度内(5月1日~翌年4月末日)

但し、学会開催前の5月1日~31日の間に、当年度の「年会費(8,000円)」を納入して頂いた場合は、同年6月に開催されます学術集会の参加費(15,000円)を、年会費納入の特典として減額いたします(正会員:5,000円、但し、初期研修医は免除)。

上記期間内に「年会費」を納入されない場合は、学術集会『参加費(15,000円)』は当日、会場にてお支払いください。

[年会費納入の特典]

- 1) 学会および学会関連学会の情報提供
- 2) 学会ホームページ上の「デジタルアトラス」の閲覧資格取得
- 3) 日本腹部放射線学会バイエル奨励賞の応募資格取得
- 4) 当年度の学会当日参加費の優遇

(学会開催前の5月1日~31日の間に年会費を納入して頂いた場合に限られます)

正会員	5,000円(但し、初期研修医は免除)
非会員	15,000円(但し、初期・後期研修医は5,000円)

「正会員」となることにより、多くの先生方が日常診療や研究活動及び教育の場において幅広くその特典を 活用されることを祈願いたします。

一般社団法人日本腹部放射線学会 代表 陣崎 雅弘

ご案内

1. 参加受付

1)参加登録はすべて、第36回日本腹部放射線学会HPから参加登録システムより各自、ご登録ください。

参加登録期間:2023年5月10日(水)10:00~6月10日(土)

参加登録サイト: http://www.jsar.jp/36th/participate.html

※現地、会場での現金による参加登録は行いません。

当日もPCにて参加登録システム(クレジット決済)より、参加登録いただくこととなりますので事前に参加登録をお済ませの上、お越しいただくことをお勧めいたします。

2) 参加費は下記の通りです。

現地会場にご参加の場合は参加登録時に配信されます「登録完了メール」をプリントアウトし受付にてご提示ください。名札をお渡しさせていただきます。

正会員	5,000円(但し、初期研修医は免除)
非会員	15,000円(但し、初期・後期研修医は5,000円)

※領収書・参加証明書については、参加登録完了メールに記載されておりますURLより各自でダウンロードできます。再発行はできかねますので、大切に保管ください。

2. 当日受付

日 時:2023年6月 9日(金)8:00~

6月10日(土)7:30~

場 所:仙台国際センター 会議棟 2F

※当日も現地にて受付はございますが、現金での対面受付は行わず、すべて、WEBからの参加登録受付となります。当日受付は混み合う可能性もありますので、極力、事前参加登録をお願いいたします。

※当日受付にて事前参加登録時に配信されます「参加登録受付完了メール」をプリントアウトしご提示ください。引き換えに「名札」をお渡しいたします。

3. 一般演題

【一般口演】

·口演会場は仙台国際センター 会議棟 2F「橘」です。

1)座長

- ご担当頂くヤッションの終了時間を厳守してください。一般口海の発表時間は以下のとおりとなります。
- ·一般演題 Case report or Case series: 9分 (発表5分、討論4分 (病理コメントを含む))
- ・大会長公募症例:9分(発表5分、討論4分(病理コメントを含む))
- ·一般演題Preliminary Research: 10分(発表7分、討論3分)

2) 発表者

◆「プレデジタルアトラス」について

発表者全員に学会ホームページ上で発表内容を「プレデジタルアトラス」形式で事前入力していただき、 非公開で「打田賞」事前審査に活用させていただきます。また、学会当日、充実した討論をして頂く為 に、病理コメンテーターの先生方による症例内容の事前確認をプレデジタルアトラスにて行いますので、 入稿の際には詳細な病理像を掲載できるよう予めデータのご準備をお願いいたします。

◆「デジタルアトラス」、学術誌「臨床放射線」掲載について

学会終了後に、掲載希望確認の上、「プレデジタルアトラス」を「デジタルアトラス」として学会ホームページに掲載いたします。また、選考委員より推薦された演題は日本腹部放射線学会が、学術誌「臨床放射線」への投稿(「プレデジタルアトラス」+「英文サマリー」+「査読」)をサポートいたします。(学術誌「臨床放射線」と「デジタルアトラス」のホームページ併載は二重投稿となりません。)

<タイムスケジュール>

11	12	2023. 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
演題登	 録	「ブ	→ ゚レデジ	 タルア	<u>→</u> トラス」	入稿	♦	第36回	旧本腹	部放射網	線学会		
							諾否最		>				
				(:	学術誌			ルアト 投稿はす					
			「臨	床放射網	缐]査読	(JSAF	R査読委	員)·著		「デジタ ^{※)} 翌年		ラス」H 放射線」	

※)「臨床放射線」掲載予定は金原出版社の最終協議により決定いたします。

<執筆要綱(概略)>

①プレデジタルアトラス (=デジタルアトラス)」

日本語入力	〔症例報告〕3,200字以上 8,800字以内 〔原著論文〕3,200字以上12,800字以内 ※)図、表…1点を400字に換算
英語入力	(Case Report) 2,000語以内 (Original Article) 3,000語以内 ※) 図、表…15点以内

②「臨床放射線」

選考委員により推薦された演題については、「プレデジタルアトラス」掲載内容を論文の体裁に整えていただき、英文サマリー(演題名、演者名、所属含100ワード以内)を追加後、査読・校正を通して同学術誌へ投稿していただく事ができます。又、英語入力された場合は臨床放射線の投稿規定に準じていただきます。

◆発表時間

・一般口演の発表時間は以下のとおりとなります。

時間厳守をお願いいたします。

一般演題 Case report or Case series: 9分(発表5分、討論4分(病理コメントを含む))

大会長公募症例:9分(発表5分、討論4分(病理コメントを含む))

一般演題Preliminary Research: 10分(発表7分、討論3分)

◆発表形式

- ・PCによる発表ですので、データもしくはご自身のPCをご持参ください。
- ・会場に設置されるプロジェクターは1画面となり、解像度は1024×768ピクセルです。
- ・当日は演者ご自身で演台上に設置されてあるキーボード及びマウスにて操作していただきます。
- ・発表終了後、座長の指示の後、病理コメンテーターによるコメント、質疑応答に対応ください。 病理コメンテーターがコメントをする際に、病理写真のスライドを使うことがございますので、最終ス ライドの後に、発表で使ったものと同じ病理写真のスライドを再掲してください。発表で提示していな い病理写真を入れることはできません。

◆PC受付

PC受付(2F ホワイエ)にて、発表の30分前までに試写をお済ませください(十分時間に余裕を持ってPC受付を行っていただきますようご協力をお願いいたします)。

- ・PC受付での発表データの修正作業はご遠慮ください。
- ・PC本体をお持ち込みの方はデータ確認終了後、発表会場のPCオペレーター席(会場ステージ向かって左側)までご自身でお持ちください。

◆発表に関する注意事項

・講演会場にはワイドサイズのスクリーン (16:9) をご準備しております。 標準サイズ (4:3) のデータもご利用いただけますが、ワイドサイズ (16:9) での作成を推奨します。

<データをお持ち込みの方>

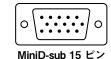
- ・発表はWindowsのPowerPointとなります。発表データはCD-R、DVD-RまたはUSBフラッシュメモリのメディアにてご持参ください(CD-RW、DVD-RWは不可)。
- ご発表用アプリケーションは以下のバージョンをご用意いたします。Windows PowerPoint: 2010~2016
 - ※ Macintoshで発表データを作成される方は、ご自身のPCをご持参ください。
- ・フォントはOS標準で装備されているものをご使用ください。画面レイアウトの崩れを防ぐには、下記フォントのご使用をお薦めいたします。

推奨フォント/日本語の場合 MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝 推奨フォント/英語の場合 Century、Century Gothic、Arial、Arial Black、Times New Roman 上記以外のフォントを使用した場合、文字や段落のずれ、文字化け、文字が表示されない等のトラブ ルが起こる可能性があります。

- ・動画をご使用の場合は、PowerPoint とのリンク状態を保つため、動画ファイルも同じフォルダに保存してください。ファイル形式は、Windows Media Player12(標準コーディック)で動作するファイル形式でご用意ください(推奨:mp4、WMV)。
- ※ AVIは CODEC によって再生できない場合があります。 動画をご使用の場合は、ご自身の PC をご持参いただくことをお薦めいたします。
- ・音声は使用できません。
- ・発表者ツールは使用できません。発表原稿が必要な方は、あらかじめプリントアウトをお持ちください。
- ・お預かりした発表データは、学会終了後、事務局にて消去いたします。

<PC本体をご持参される方>

・PC本体をお持込みの方は、PC受付でのデータ確認終了後、発表会場のPC オペレーター席(会場ステージ向かって左側)までご自身でお持ちください。



- · PCお持ち込みの場合は、外部ディスプレイ出力が可能であることを必ずご確認ください。
- ・バッテリー切れを防ぐため電源アダプターをご持参ください。再起動することがありますので起動の際のパスワード設定は必ず解除してください。
- ・出力端子がMiniD-sub 15ピンでないものは、接続アダプターをご持参ください。※HDMIやMini DisplayPortなどのD-sub15ピン以外の接続はお受けできません。
- ・画面サイズ (解像度) はXGA (1024×768) となります。
- ・この環境で画面のすべてが不具合なく表示されることを、予めご確認ください。
- ・音声は使用できません。
- ・発表者ツールは使用できません。発表原稿が必要な方は、あらかじめプリントアウトをお持ちください。
- ・スクリーンセーバー、ウイルスチェック、並びに省電力設定(Macintoshの場合はホットコーナー も)は、あらかじめ解除をお願いいたします。

◆病理標本

・口演は病理学の先生にコメンテーターをお願いしております。病理コメンテーターの先生方よりご要望のあった演題については、事前にプレパラートをご送付いただくか、当日ご持参いただきます。ご郵送をお願いする場合は改めてご連絡させていただきます。なお、お預かりしたプレパラートは、口演後に病理室(2F 小会議室4)にて返却いたしますのでお忘れのないようご注意ください。

【ポスター展示】

- ·ポスター展示会場は2F「桜」です。
- ・ポスター展示については、一般展示、問題提示 (クイズ) 形式の2種類があります。 各自ご発表の形式とパネルサイズを確認の上、作成するようお願いいたします。

1) 座長

・1日目の17:00~17:40にポスターディスカッションを行います。 発表4分、質疑2分で進めてください。

2) 一般展示発表者

- ・ポスターを掲示するパネルのサイズは下記の通りです。
 - (11ページのポスター作成見本を参考に作成してください)

パネル上:横116 cm×縦90 cm パネル下:横116 cm×縦90 cm

- ・ポスターは、1日目午前11:00までに掲示してください。ポスターを掲示するパネルに演題番号がついていますので、会場に用意されたマジックテープを使用して掲示してください。
- ・1日目の17:00~17:40にポスターディスカッションを行います。発表者はご自身のポスターの前で 待機してください。各セッションの座長の進行に従って、発表4分、質疑2分でお願いいたします。
- ・2日目の全プログラム終了後は、直ちにポスターの撤去をお願いいたします。終了後 18:30 過ぎても残っているポスターは処分いたしますので、ご了承ください。

3) クイズ展示発表者

・ポスターを掲示するパネルの大きさは下記の通りです。

(12ページのポスター作成見本を参考に作成してください)

パネル上 (出題) : 横 1 1 6 cm×縦 90 cm パネル下 (解答解説): 横 1 1 6 cm×縦 90 cm

- ・出題部分には患者の年齢、性、簡単な主訴や経過、症例の画像のみを提示するように作成してください。 図の説明は検査法のみとし、所見の解説はつけないようお願いいたします。矢印や矢頭はつけていただい ても構いません。
- ・解答解説部分には演題名に続いて、画像の説明、最終診断、症例の解説をお願いいたします。出題部分と 重複してお示しいただいても構いません。
- ・上記の原稿を指定日までに事務局宛に送付してください。解答・解説部分を隠して掲示致します。なお、 第1日目の17:00より解答・解説部分を公開いたします。
- ・クイズ展示に関して座長の設定や口演発表は行いませんが、第1日目の17:00~17:40まではポスターディスカッションのため、ご自分のポスターの前で待機してください。
- ・2日目の全プログラム終了後は、直ちにポスターの撤去をお願い致します。終了後 18:30 過ぎても残っているポスターは処分いたしますので、ご了承ください。

4. 社員総会(世話人会)

日 時:6月9日(金)12:40~13:05(25分)

場 所:2F 口演会場「橘」

5. クイズ企画

クイズ企画の問題が6月9日(金)8:00より2Fポスター会場「桜」にて掲示されており、参加受付にてお配りいたします「クイズ企画応募用紙」に記入の上、応募箱に入れてください。皆様、奮って解答ください。 なお、回答は6月9日(金)17:00以降に公開されます。

「クイズ企画応募用紙」より解答を応募された中からクイズ症例優秀者表彰を6月10日(土)13:40~口演会場「橘」にて行います。上位の方には、大会長より心ばかりの賞品をご用意しております。 皆様、是非ご参加ください。

|6. 打田賞受賞講演・表彰|

日 時:6月10日(土)13:00~13:30

7. 基調講演

【基調講演】(日本専門医機構認定放射線科領域講習会)

共催:バイエル薬品株式会社

日 時:6月10日(土)9:40~11:00

『膵疾患の診療アップデート』

座 長:高瀬 圭(東北大学大学院医学系研究科 放射線診断学分野)

演者:古川 徹(東北大学医学部病態病理学分野)

『膵疾患の病理』

川井 学(和歌山県立医科大学 第二外科)

『膵癌の診断・治療における MRIの役割』

8. 共催セミナー

【ランチョンセミナー1】 株式会社フィリップス・ジャパン

日 時:6月9日(金)11:40~12:30

『さらなる高速化・高画質化に向かう腹部MRIの可能性』

座 長:本杉宇太郎(甲府共立病院 放射線診断科)

演者: 舟山 慧(浜松医科大学 放射線診断学講座)

『SmartSpeedがもたらす新たな腹部MRI』

片平 和博(熊本中央病院 放射線科)

『さらに進化した"時短・きれい・ブレ防止"を実現する新しいアプリケーションの活用術』

【ランチョンセミナー2】 キヤノンメディカルシステムズ株式会社

日 時:6月10日(土)12:00~12:50

『腹部画像診断のあるべき姿と進化』

座 長:福倉 良彦(川崎医科大学 放射線診断学教室)

演者: 喜友名 一(日本医科大学千葉北総病院 放射線科)

『腹部領域における Spectral Imaging の臨床活用』

桐生 茂(国際医療福祉大学 放射線医学講座)

『新しいDLR技術「PIQE」の腹部領域での初期経験』

【ティータイムセミナー1】 ゲルベ・ジャパン株式会社

日 時:6月9日(金)14:00~14:50

『腹部領域の画像診断 -診断能向上にむけて知っておくべき Tips -』

座 長:新本 弘(防衛医科大学校 放射線医学講座)

演者:中本 篤(大阪大学放射線医学教室)

『泌尿器領域の画像診断 見落とし・誤診を防ぐためのTips』

藤永 康成(信州大学画像医学教室)

『膵癌早期診断を目指すために知っておくべきポイント~攻めの画像診断のススメ~』

【ティータイムセミナー2】(日本専門医機構認定放射線科領域講習会)

共催:富士製薬工業株式会社

日 時:6月10日(土)14:45~15:45

『CT/MRI LI-RADS v2018 押さえておくべきポイント』

座 長:村上 卓道(神戸大学大学院医学研究科 放射線医学分野)

演者:市川新太郎(浜松医科大学放射線診断学講座)

【イブニングセミナー】 GEヘルスケア・ジャパン株式会社

日 時:6月9日(金) 15:50~16:40

『GE HealthCare CT/MRI 臨床活用最前線』

座 長: 曽我 茂義 (獨協医科大学 放射線医学講座)

演 者: 戸島 史仁(金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 内科系医学領域放射線科学)

『上腹部画像診断における Dual Energyの価値~日常の臨床読影の活用法と有用性~』

坪山 尚寬(大阪大学大学院 医学系研究科 放射線統合医学講座 放射線医学)

『骨盤部画像診断における Deep Learning Reconstructionの価値

~多彩な活用法と対象臓器のベストマッチとは~』

【モーニングセミナー】 シーメンスヘルスケア株式会社

日 時:6月10日(土)8:40~9:30

『Simens Healthineers MR/CT最前線』

座 長:山田 隆之(東北医科薬科大学医学部放射線医学教室)

演者:橋本順(東海大学医学部専門診療学系画像診断学)

『NAEOTOM Alpha 臨床的インパクト:アジア初号機の導入から1年の使用経験』

斎藤 聡(国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 放射線診断科)

『肝臓 Dynamic 検査における GRASPの有用性』

9. 企業展示

日 時:6月9日(金)~6月10日(土)

会 場:2F ホワイエ

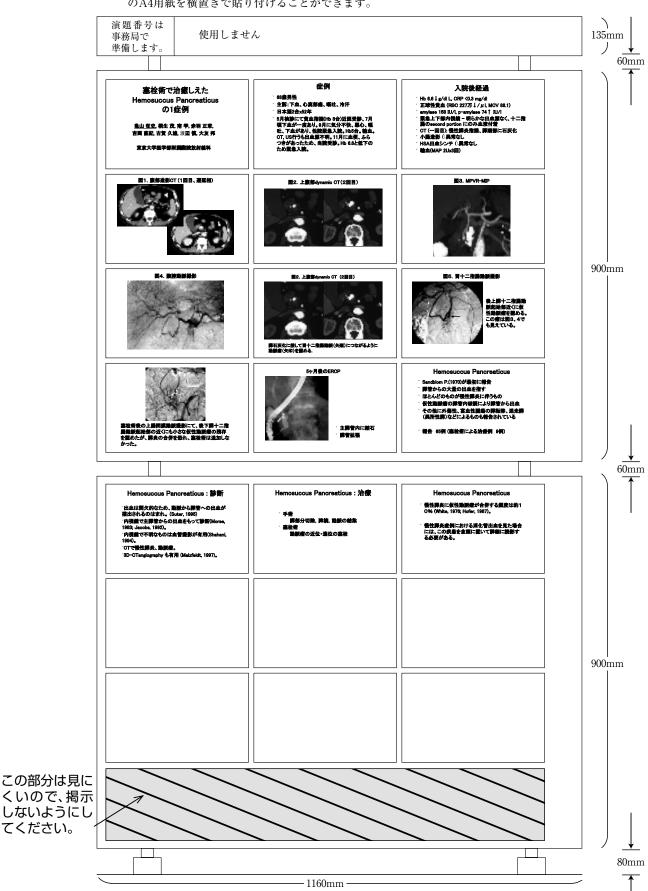
コヴィディエンジャパン株式会社、富士フイルムメディカル株式会社

10. 情報交換会

日 時:6月9日(金) 17:40~18:40 場 所:2F ポスター展示・休憩会場「桜」内

-般展示 ポスターの見本 (A4用紙に印刷してポスターを組んだ場合)

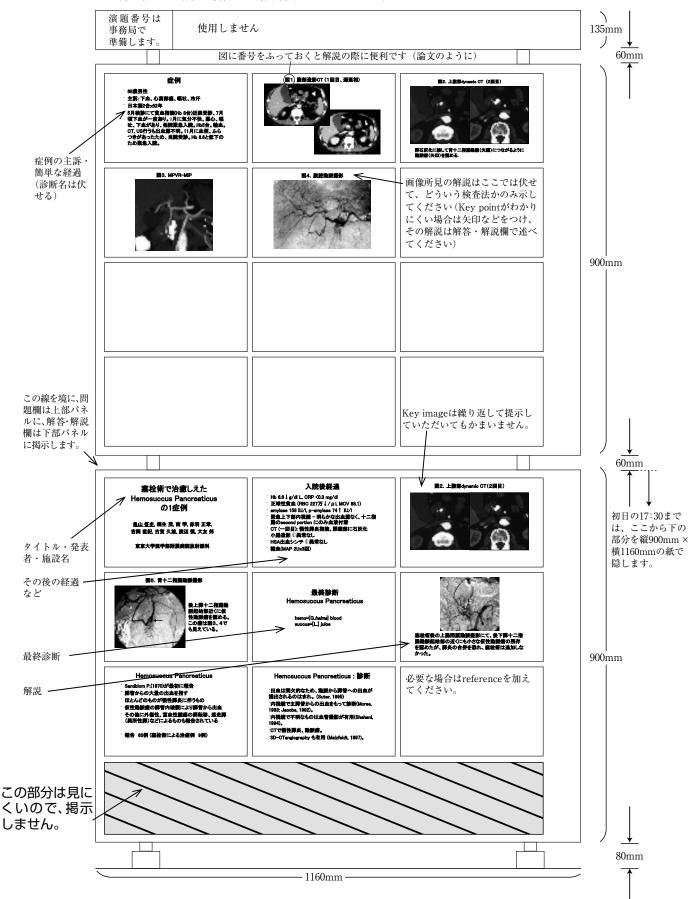
A4用紙を使った場合、上の欄には最大3列×4行、下の欄には最大3列×3行、計21枚 のA4用紙を横置きで貼り付けることができます。



てください。

クイズポスターの見本(A4用紙に印刷してポスターを組んだ場合)

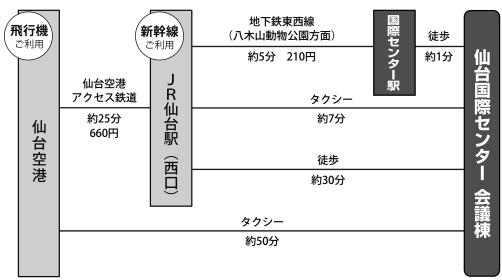
A4用紙を使った場合、上の問題欄には3列×4行、下の解答・解説欄には最大3列×3行、計21枚のA4用紙を横置きで貼り付けることができます。



仙台国際センター

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地 TEL 022-265-2211(代)





★東京から新幹線で

東京駅から仙台駅まで、東北新幹線「はやぶさ・こまち」で約1時間30分。

★飛行機で

札幌(新千歳)、成田、小松、名古屋(中部)、大阪(伊丹・関西)、神戸、出雲、広島、福岡、沖縄(那覇)から 仙台空港へのフライトがあります。

- ※仙台市営地下鉄及び仙台市営バスでは、Suica(スイカ)など交通系ICカードの使用が可能です。
- ※会場には有料駐車場があります。(料金:普通自動車 最初の1時間は200円、以降30分につき100円) 台数には制限がございますので、なるべく公共の交通機関をこ利用ください。

会場フロア図

2階



プログラム・日程表

第36回日本腹部放射線学会日程表

	6月9日(金)		6月10日(土)		
	口演会場 (2F 橘)	ポスター展示・ 休憩コーナー (2F 桜)	口演会場 (2F 橘)	ポスター展示・ 休憩コーナー (2F 桜)	
8:00- 9:00-	8:55~9:00 開会の辞		8:00~8:30 膵臓 (0-22 ~ 0-24) 8:40~9:30		
9.00-	9:00~10:00 子宮・卵巣卵管(O-1 ~ O-6)		モーニングセミナー		
10:00-	10:10~10:50 胆道・胆嚢 (O-7 ~ O-10)		9:40~11:00 基調講演 (日本専門医機構認定放射線科領域講習会)		
11:00-	11:00~11:30 後腹膜 (0-11 ~ 0-13)		11:10~11:50 Preliminary Research (0-25 ~ 0-28)		
12:00-	11:40~12:30 ランチョンセミナー 1	12:30~13:05	12:00~12:50 ランチョンセミナー 2	8:00~18:10 ポスター	
13:00-	12:40~13:05 社員総会	ポスター 閲覧	13:00~13:30	閲覧	
14:00-	13:10~13:50 腎臓(0-14~0-17)		打田賞受賞講演・表彰 13:30~13:40 ACAR2023 告知 13:40~13:50 クイズ症例優秀者表彰 13:50~14:05 JSAR 総会		
14.00-	14:00~14:50 ティータイムセミナー 1		14:05~14:35 泌尿器(0-29 ~ 0-31)		
15:00-	14:55~15:40 大会長公募症例(0-18 ~ 0-21)		14:45~15:45 ティータイムセミナー 2 (日本専門医機構認定放射線科領域講習会)		
16:00-	15:50~16:40 イブニングセミナー		15:55~16:35 消化管・腸間膜・腹腔 (0-32 ~ 0-35)		
17:00-	16:40~17:00 ポスター閲覧	17:00~17:40 ポスター セッション	16:45~17:25 肝臓 1(0-36~ 0-39) 17:25~18:05		
18:00-		17:40~18:40 情報交換会 ※ポスター閲覧	肝臓 2 (0-40 ~ 0-43)		
19:00-					